



広報

つがる

2005

5.15

No.7

市の人口と世帯数(平成17年5月1日現在) 人口 40,232人(男 19,335人/女 20,897人) 世帯数 13,108世帯



右見て 左見て 安全確認

雪が解け、子供たちが外で遊ぶ機会が増えてきました。子供たちが交通事故に遭わないようにするため、市立柏小学校では、昨年引き続き交通安全教室を開催しています。この日は4年生から6年生の児童が、津軽モータースクールの協力を得て、教習場のコースを利用し、自転車の安全な乗り方や、交通ルールを学んでいました。

主な内容

越水地区農業集落排水処理場が完成/柏市と友好都市を確認	2
第2回 屏風山山火事緑の再生	3
もっとまちをきれいにしよう/鉄製ごみ収集箱を設置	4
おやこウォーク in 地球村/緑豊かな街に/水墨画を寄贈	5
メロン・すいか巡回指導/山火事防止を呼びかける/水稻巡回指導/民児協連絡協議会総会	6
ウォーキングで健康増進/健康推進課だより	7
つがる市課・係の主な業務内容と職員の紹介	8
行政相談をご利用ください/ホストファミリー募集	9
地区別ごみ収集回数及び収集一覧	10

越水地区

農業集落排水処理場が完成

快適でやすらぎのある、暮らしやすい生活環境を

四月二十日、木造越水に建設していた、越水地区農業集落排水処理施設が完成し、通水式が行われました。

通水式で福島市長は「つがる市では、快適でやすらぎのある、暮らしやすい生活環境を基本目標に掲げ、清潔で住みよい生活環境づくりに力を注いでおり、水清らかな田園都市建設に向けて、大きな一歩をしるしたものと考えています」とあいさつ。

この越水地区農業集落排水処理施設は、木造の広岡、あざみ岡、越水、駒田、吹原、南広森丸山の七集落を包括した、農村下水道として建設したもので、平成十三年度から管路の工事が始まり、このたび処理施設が完成したものです。

本事業は、県道鯉ヶ沢蟹田線をはじめ市道に下水道管路約二



テープカットする福島市長ら関係者



完成した越水地区農業集落排水処理施設

十キロメートルを埋設し、木造越水に汚水処理施設を建設するもので、総事業費約二十一億円を投じる計画となっています。

処理区域は二百十二ヘクタール、対象人口二千五十人、一日当たり五百五十四立方メートルの汚水処理能力を持つており、各施設も最新鋭のものを導入し、自動化、コンピュータ化を進め近代的な施設となっております。市では、今後も残された農村地区のすべての市民が、一日も早く農業集落排水処理施設を利用できるように、整備を進めることにしています。

柏市と友好都市を確認

柏市が沼南町と合併

ふるさと交流都市の提携をしている千葉県柏市が、平成十七年三月二十八日、沼南町と合併、新「柏市」としてスタートし、四月二十六日合併記念式典が行われ、福島市長が出席しました。

平成六年、旧柏村が全国唯一の同名自治体であることなどから千葉県柏市とふるさと交流都市提携を締結し、以来、柏市へのPR（特販売）や、サッカーを通じたスポーツ交流など、柏村ふるさと交流協会が主体となり各種交流事業を行ってきました。

つがる市では、この交流都市提携を引継ぐことが確認されており、本田柏市長との対談では、互いの合併の経過に触れながら、合併を讃え、引き続き末永い交流と友好関係を誓いました。



本田晃柏市長と対談した福島市長



日本一の栄冠に輝いた市立柏高等学校吹奏楽部による演奏が、式典のアトラクションで披露された



第二回屏風山 山火事緑の再生

苗木一、二〇〇本 を植林

四月二十九日、第二回屏風山山火事緑の再生「ボランティア活動が行われ、昨年の活動で焼失し立ち枯れたクロマツが抜き取られて更地となった場所に、今年にはマルバアキグミの苗木千二百本を植林しました。

山火事で二万本の クロマツが焼失

昨年三月十七日、出来島地区で発生した山火事で二・六二ヘクタール、約二万本の植林されたクロマツが焼失しました。

このクロマツの植林は天和二（一六八二）年から、日本海に沿って横たわる巾一里の砂丘の



焼失して立ち枯れたクロマツ

屏風山から飛んでくる砂塵を防ぐために、砂丘に植林され、現在も大きな役割を果たしています。

緑を守る

県民ボランティア活動

この山火事によって失われた緑を再生しようと、昨年「屏風山山火事跡地緑の再生委員会」が設置され、「緑を守るボランティア活動」が行われました。



連係よく苗を運ぶ木造西中学校の生徒

第二回目となる今回の活動は四月二十九日（みどりの日）に行われ、木造ライオンズクラブ、木造ロータリークラブ、津軽人文自然科学研究会、穂波小学校、木造西中学校、五所川原農林高校、出来島子供会、出来島集落、出来島財産区、つがる森林組合、県森林組合連合会、西津軽土地



小学生も一生懸命

改良区、市消防本部、津軽森林管理署金木支署、西北五農林水産事務所、そして一般市民のボランティア等およそ三百五十人が参加しました。

屏風山山火事跡地緑の再生委員会の会長である福島市長は「先人が潮、風、砂との戦いの中で、試行錯誤を繰り返しながら、築き上げてきた海岸線の防風林により津軽新田がすばらしい穀倉地帯になりました。この貴重な海岸線の防風林を守り、後世に引き継いでいかなければならない」とあいさつしました。

参加者は、屏風山の緑の再生を願い、穴掘り、ポット苗作り、苗運び等を苦勞しながらも手際よくこなし、自分の名前や願い事を書いた立て札を横にたてて植林しました。



4月24日、森田町で、市役所森田支所や市社会福祉協議会森田支所、商工会森田支所の職員ら72名が参加し、沿道の清掃をしました。



姥島子ども会(柏)では、毎年恒例になっている「古田川クリーン作戦」を、5月1日に25名が参加し、沿道の清掃をしました。



4月17日、稲垣町で、稲垣村こども会育成連絡協議会や稲垣村老人クラブ連合会、稲垣村連合婦人会による、あきかんひろいが行われました。



4月23日、富范町で、富范警察官駐在所連絡協議会や防犯指導隊車力支隊、交通指導隊車力隊などおよそ30名が参加し、沿道の清掃をしました。



4月16日、西津軽土地改良区は、毎年行っている川のクリーン・キャンペーンとして、永田、蓮川地区の住民や関係機関の職員らおよそ200人と、古田川、出精川の排水路の沿線の清掃奉仕活動を行いました。

もっとまちなきをきれいにしよう

鉄製のごみ集積箱を設置



4月に更新された鉄製のごみ集積箱(木造横町)

市では、ごみ集積箱の新設や老朽化した集積箱の更新の要望があった場合、本年度から順次予算の範囲内で鉄製のものを設置して行くことにしています。車力地区ではすでに、鉄製の集積箱を利用しており、ガラスなどからの被害がないことや、耐久性に優れていることから、今後普及させるもので、四月には五ヶ所の集積箱を更新しました。

詳しくは、民生部環境衛生課までお問い合わせください。

内線 二八二



マリーゴールドを植える参加者

「イオンふるさとの森づくり」の一環として行われたもので、これまで全国で五百三十万本もの花や木が植えられました。

緑豊かな街に

第十三回花いっぱい推進運動

四月二十九日、イオン柏ショッピングセンターで、第十三回目を迎える「花いっぱい推進運動」が開催され、柏小学校の児童や柏中学校の生徒、市民ら四百五十人が参加しました。

開会セレモニーでは、村山悦朗ゼネラルマネージャーは「みどりの日にちなみ、行われてきたこの花いっぱい運動は、今年で十三回目を迎えました。つがる市としては初めてであります。楽しんで花を植えてください」と述べ、つがる市を代表して佐藤昭三助役が「緑の環境を保全し、活用して、さらに新たな緑を創出し、快適で潤いのある街を形成して、次の世代に継承していかねければならない」とあいさつ。

その後、参加者たちはマリーゴールドの花二千本を沿道の花壇に植えました。



元気にスタートする参加者

おやこウォークin地球村

おやこウォークin地球村

五月一日、つがる地球村で昨年に続き「つがる市おやこウォークin地球村」が開催されました。

今年も市民はもとより県内外各地から昨年の二倍を上回る親子連れや仲間同士など総勢八百五十人以上が参加し、五キロコース、十キロコース、十五キロコースに分かれて、自然豊かな景色を楽しみながら体力に合わせマイペースで歩いていました。

これはつがる地球村(株)が主催で、スポーツで健康維持、体力増進はもとより、地域間、世代間を超えて一緒に汗をながし、楽しい一日をすごしてほしいと行っているものです。

この日は好転に恵まれ気温も上昇し、沿道は桜やコブシの花が見ごろを迎え散策には絶好の日和となりました。

昼食では、みんな一緒になってバイキングを楽しみ、その後お楽しみ抽選会や健康相談コーナーでの自分の健康チェックなどのイベントを楽しんでいました。



市役所庁舎一階ロビーに、飾られている「北辺の海」は畳6枚分の大きさです。



外崎裕司氏

この度、下車力町出身の外崎裕司氏(雅号・外崎裕澹)が、市役所に水墨画「月夜の櫻」「北辺の海」を寄贈しました。

外崎裕澹氏略歴

2002年第43回青森県美術展示会大賞
2003年第20回日本中国水墨画合同展特選
2004年第23回日本水墨画特選
他入選多数。

温度、水管理に注意

メロン・すいか巡回指導

四月十九、二十日の二日間にわたり、メロン・すいかの巡回指導が行われ、農協などの関係機関の職員十六名が市内の十七地区二一五戸の農家を回り、育苗の適正管理を呼び掛けました。一行は、木造吹原の木村文宣さんの育苗ハウスで目ぞろい会を行い、つがる普及分室の職員から「今冬の大雪の影響で、生育が一週間程遅れているので、ハウスの温度管理や水管理を徹底するように。また、四、五年前から、つる割れ病の発生が多く見られるので、注意して下さい」と説明を受け、職員たちは五班に分かれ、農家を回りました。



巡回指導の前に目ぞろい会を行う



富岡町をパレードする宣伝車

山火事防止を呼びかける

4月14日、木造、森田、車力地区の森林に携わる関係者は、山火事防止宣伝パレードを行い、消防車や宣伝車などが市街地や森田地区から車力地区までの屏風山一帯の集落を回り、山火事防止を呼びかけました。

昨年、出来島地区で2.62ヘクタール、約2万本の植林されたクロマツが焼失したことから、関係者は「農作業や山菜取りなどで、火の取扱には十分気をつけてほしい」と話していました。

米づくりをー水稲巡回指導

四月二十七日、県農林水産部は「売れる米づくり」を目指し、木造永田の水稲採種組合の育苗施設などを巡回し稲作指導を行いました。

一戸農林水産部長は「昨年の作況指数は一〇一であったが、青森県産米は需要が少なく、販売面で苦慮している。今後は、全国に通用する銘柄の産地づくりが急務である」と述べ、佐藤昭三助役は「早い段階で、農産物のブランド化を確立して行きたい」と話していました。



生育状況等の説明を受ける生産者

社会福祉の向上を

四月二十六日、松の館で、つがる市民生委員児童委員連絡協議会の総会が行われました。



つがる市発足により、市内の各民生委員児童委員協議会の連絡協議会を組織したもので、つがる市の社会福祉の充実を図るものです。

総会に先立ち、十八年間という長きに渡り、地域の福祉活動に貢献された、梶浦正蔵氏(車力)に厚生労働大臣特別表彰の伝達が行われました。



厚生労働大臣特別表彰の伝達を受ける梶浦正蔵氏

役職名	氏名	備考
会長	佐々木 佐吉	車力民児協 会長
副会長	渡辺 博美	木造民児協 会長
〃	鈴木 克隆	柏民児協 会長
〃	島田 一雄	森田民児協 会長
〃	木津谷 昭郎	稲垣民児協 会長
理事	平田 松二	木造民児協 副会長
〃	江良 武美	〃
〃	佐々木 武一	柏民児協 副会長
〃	天坂 やさ	森田民児協 副会長
〃	秋元 勝利	稲垣民児協 副会長
〃	西巻 兼美	車力民児協 副会長
〃	宮本 美保子	木造民児協 主任児童員
〃	三上 照子	柏民児協 主任児童員
〃	佐藤 朋子	森田民児協 主任児童員
〃	斉藤 裕	稲垣民児協 主任児童員
〃	伊藤 けい子	車力民児協 主任児童員
監事	佐々木 英里子	柏民児協 婦人部長
〃	盛 亮	森田民児協
〃	工藤 又イ	稲垣民児協 監事
〃	成田 徳一	車力民児協 副会長

ウォーキングで健康増進

つがる市稲垣ウォーキングの会

四月二十五日の総会で百万歩達成者表彰の後、恒例の芦野公園ウォークがあり、初心者も四キロ、経験者は八キロコースを参加者全員（三十九名）が完歩しました。

「健康いながき21」では脳卒中予防が重点課題となり運動面では運動習慣のある人の割合が国や県の平均にくらべ低いことから「仕事以外で、自分にあつた運動をしましょう」を行動目標に掲げウォーキングの自主グループ育成を計画しました。

平成十四年七月ウォーキングの輪を広げることを目的に広報「いながき」で呼びかけたところ四十五名の応募があり、平成十四年九月「稲垣村ウォーキングの会」が発足しました。

平成十六年度は、「稲垣村ウォーキングマップ」を会員みんなで完成させ、地域にウォーキングコースを紹介し、ウォーキングの輪を広げていきました。

平成十七年度は、町村合併に伴い名称を「稲垣村



総会后、芦野公園まで歩く会員

ウォーキングの会」から「つがる市稲垣ウォーキングの会」と改め、つがる市にもウォーキングの輪を広めたいとほりきっています。

平成十七年四月現在会員は七十四名、新規加入者が十名ありました。

芦野公園ウォークでは、例年桜の下で記念写真ですが、今年度は厳しい寒さの影響で桜はつぼみでしたが参加者の顔は満開の笑顔でした。

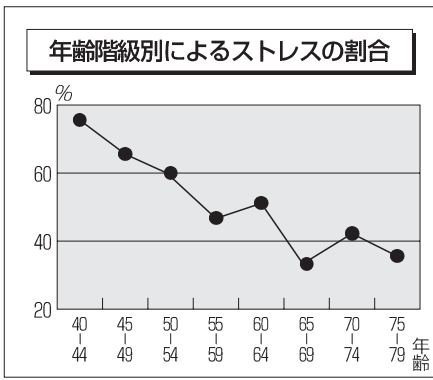
健康推進課だより

心の健康づくりシリーズ②

今回は、旧木造町の自殺死亡者の統計から、働き盛りの男性と高齢女性、特に七十五歳以上の女性に自殺死亡者が多い特徴があつたことから、平成十六年に、心のアンケート調査を取り組みました。

そのアンケートから、心の負担になるストレスを中心にお知らせします。

- ① 「大いにある」が一〇・三%、「多少ある」三六・九%、「あまりない」三八・二%、「全くない」一四%だった。
- ② 若い人ほどストレスを感じる人が多く、年齢がかさむに連れてストレスを感じる人が減っています。

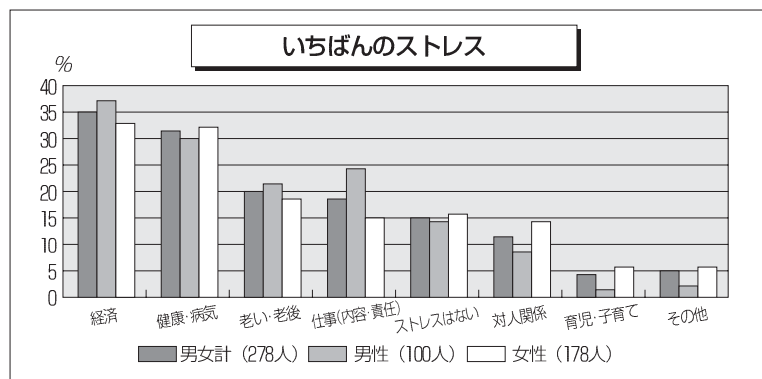


- ③ ストレスの対処法は、
 - ・男性が「のんびりする」「たばこを吸う」「テレビラジオを聞く」「寝てしまう」
 - が多く、全国と比べ「趣味やスポーツをする」が少ない。
 - ・女性は「人に話す」「テレビラジオを聞く」「買い物する」が多く、全国と比べ「じっとたえる」が多い。
 - 男女差があつたのは、「人に話す」「何か食べる」「買い物する」「テレビラジオを聞く」で女性が高く、「計画的に休暇」「アルコール」「たばこ」「寝てしまう」で男性が高い。

- ④ ストレス等の相談先は「家族」「友人・知人」が多く、次いで「相談する必要がある」でした。
- ⑤ 一番ストレスを感じる内容は、「経済的なこと」「健康・病気」「老い・老後」の順です。
- ⑥ ストレスの内容で一番多い経済面を見ると、借金や経営難が多く、農家の方々の回答が多い。

ストレスは、やる気を起こしたりがんばる材料になったりします。心の負担になったり、健康まで害することがあります。女性は人に話して発散しますが、男性は自分一人で抱えてしまうことも多いようです。

今まで精一杯がんばってきたのですから、男だからと片意地はらず、愚痴や弱音を吐くこと



もあつていいし、ゆっくりすることも大事です。積極的に解決に取り組むことも重要ですが、上手にストレスとつき合っていく工夫も大切です。

☆お問い合わせは、健康推進課まで。

つがる市課・係の主な業務内容と職員を紹介します

〈財政部〉 部長 山本有彦
次長兼財政課長 佐藤浩章

財政課 課長補佐 柳生敏雄

財政係 (財政計画、予算、地方交付税、基金管理等)

係長 平田光世

係員 佐々木浩樹、太田治美

起債係 (市債、補助金の適正化、起債等)

係長 鳴海義仁 係員 蝦名宏泰

税務課 課長 須藤紳逸

課長補佐 小寺保、加藤靖

市民税係 (市民税、軽自動車税、たばこ税、原付自転車標識交付等)

係長 三浦貴彦 係員 佐々木絹江、荒関津恵子、葛西正美、成田龍一、成田康輝

資産税係 (固定資産税、固定資産の調査・評価、公図等)

係長 今朋子 係員 木村真悦、成田均

国保税係 (国民健康保険税の賦課、調定等)

係長 白戸実 係員 原田ひとみ、丹代誠記

収納課 課長 工藤秀美

課長補佐 金子直正

管理係 (市税の収納、前納報奨金、納税証明、納税貯蓄組合等)

係長 加藤久子 係員 金沢洋行

収納係 (市税の徴収、介護保険料の徴収、住宅料・下水道使用料等の徴収等)

係長 小山内玲 係員 内藤雅平

管財課 課長 倉水弘昭

課長補佐 三上修司、八木橋勝弘

財産管理係 (公有財産、財産区、土地開発公社、用地買収等)

係長 新岡清一 係員 中野由起子、山本優子、佐藤廣文

車両係 (公有自動車の管理、公有所自動車台帳の整備保管等)

係員 蝦名仁志、渋谷谷、平山英一、高橋精一、伊藤修一、神忠雄、村上稔

契約用度係 (建設土木工事入札、契約・指名願い・物品調達等)

係長 小笠原康人 係員 山口一春

企画課 課長 鎌田常芳

課長補佐 山口健吾、成田幸祐

企画振興係 (長期総合計画、国際・国内交流、過疎・辺地計画等)

係長 嶋昂 係員 長瀬公秀

国際交流員 クリストファー・ヘインジ

統計係 (統計調査、統計管理等)

係長 菊地枝美子

係員 山本将司、毛内聖史

男女共同参画係 (男女共同参画の総合的な企画・調整、施策の総合推進等)

係長 渡辺照秀

〈民生部〉 部長 外崎則男

次長兼環境衛生課長 尾野憲造

市民課 課長 倉水友秋

課長補佐 宮川昭雄、増田忠昭

市民係 (住民基本台帳、外国人登録、謄抄本の交付印鑑登録等)

係長 山口キヨエ 係員 藤田むつ子、成田千賀子、成田千鶴子、高橋勉

出稼相談係 (出稼に関する事等)

係員 中村拓也

戸籍係 (戸籍、埋火葬、人口動態等)

係長 須藤眞弘 係員 鳴海ユキエ、成田範子

市民相談係 (行政相談、人権擁護、消費者行政、自衛官募集等)

係長 片山富子

国民年金係 (国民年金、福祉年金、年金相談、年金制度等)

係長 阿保真理子 係員 伝法谷道子

国民健康保険課 課長 木村光雄

課長補佐 葛西彰憲 佐々木勝雄

国民健康保険係 (国民健康保険、退職者医療、被保険者の資格取得等)

係長 川嶋雅子 係員 三浦道子、野呂有恵子、藤田耕三、伊藤禎悦、長内朝子

老人保健係 (老人保健医療の受給資格、老人医療給付等)

係長 宮崎喜樹 係員 小山内八重子

環境衛生課 課長補佐 菅沼洋一、成田頼司

生活衛生係 (廃棄物の処理・清掃、葬斎苑の維持管理等)

係長 小山内宏幸

環境係 (犬の登録、公害の調査、環境保全対策、昆虫駆除等)

係長 長内誠二 係員 奈良真樹、對馬優子

行政相談をご利用ください

4月1日付けで、総務省より、つがる市の行政相談委員に5名の委員が委嘱されました。任期は2年間となっています。

苦情の相談を通じて市民の声を行政に

市民の皆さんが毎日の暮らしの中で、行政が行う仕事についての苦情や意見・要望などがあつたとき、もっとも身近な相談相手になるのが行政相談委員です。

行政相談委員は、社会的な信望があり、行政運営の改善について理解と熱意を有する人の中から総務大臣が委嘱するものです。

地域での皆さんの身近な相談相手として、行政サービスに関する相談や行政の仕組みや手続に関する相談を受け付け、相談者への助言や関係行政機関への通知などの仕事を無報酬で行っています。

●苦情を直接申し出にくい ●どこへ申し出たらよいかわからない

●苦情を申し出たが、その措置に納得できないなどの場合、気軽にご利用ください

行政相談委員は、自宅のほか、市役所、公民館などで定期的にあるいは巡回して、皆さんからの相談に応じています。



木造地区
小田原 一次氏
TEL 42-3257



森田地区
佐藤 朋子氏
TEL 26-2370



柏地区
鈴木 克隆氏
TEL 35-2042



稲垣地区
藤田 明夫氏
TEL 46-3860



車力地区
鳴海 久氏
TEL 56-3514

行政相談委員の活躍により解決した事例等

- 年に一回以上は実施することとされている定期健康診断をここ数年実施していない会社に対して、行政相談委員が労働基準監督署に苦情内容を通知した結果、同署が会社を指導し、定期健康診断が実施された。
- 橋と道路との継ぎ目の損傷がひどく、大型車両が通過するたびに、付近の住宅が振動するため、行政相談委員が道路管理者に苦情内容を通知した結果、補強工事が実施され、住宅の振動がなくなった。
- 身体に障害を持つ方々や高齢者の方々と懇談会を開催し、苦情を受け付けたところ、行政機関、駅等公共施設について、階段への滑り止め設置等身体に障害を持つ方々や高齢者のための施設整備に関する苦情が数多く寄せられました。同じような苦情の再発防止を図るため、調査した結果、改善する必要があるものが数多く見られたため、関係機関に結果を通知、身体障害者を持つ方々や高齢者が安心して利用できるような施設整備の推進を図りました。

バス市訪問団ホームステイ受入れ ホストファミリー募集

米国メイン州・バス市の訪問団（中高校生10人、大人5人）がつがる市に滞在します。つきましてはホームステイを受入れていただける「ホストファミリー」を募集します。

○滞在期間：平成17年7月27日（水）～8月8日（月）

○ホストファミリーの皆さんには宿泊と朝食、夕食を提供していただきます（一部助成金を支給いたします）。

【ホストファミリー募集説明会】

平成17年6月8日（水） ① 昼の部 午後2時～3時（松の館1F会議室）

② 夜の部 午後7時～8時（松の館1F会議室）

○説明会に参加希望の方は市役所企画課までお申し込みください。

○説明会に参加できない方は電話又はFAX等で資料を請求してください。

財政部企画課／電話 42-2372(直通)／FAX 42-3069／電子メール kikaku@city.tsugaru.aomori.jp

平成17年度 つがる市地区別ごみ収集回数及び収集一覧

この広報紙は再生紙を使用しています。

地区・回数 収集日 分別種類	木 造			森 田			柏		稲 垣		車 力			
	収集回数	① 地区	② 地区	収集回数	勝山ほか	森田ほか	中田ほか	収集回数	全地区	収集回数	全地区	収集回数	車力町 牛潟町 下牛潟町	下車力町 富豊町 富范町
燃やせるごみ	週2	月&木	水&土	週1	火(7~9月・週2)			週2	火&金	週1	月	週2	月&金	火&土
燃やせないごみ	月2	第2&4火	第1or3金	週1	月	水	金	週1	土	月1	第4火	週1	水	
ペットボトル	月1	第1火	第4金	月1	第1月	第1水	第1金	週1	水	月2	第2火&第4木	週1	木	
白色トレイ	月1	第1木	第2or3水	月1	第1月	第1水	第1金	週1	水	-	-	-	-	
その他のプラスチック	月2~3	隔週火	隔週金	月1	第1月	第1水	第1金	週1	水	月2	第1&3木	月2	第2&4水	
発泡スチロール	月1	第3木	第4or5水	-	-			週1	水	-	-	-	-	
空き缶 (缶類)	アルミ缶	月2	第2&4火	第2&4金	月2~3	第2&4&5木		週1	水	月2	第2火&第4木	週1	木	
	スチール缶				月2~3	第2&4&5木								
空きビン (ガラスびん)	無色	月1	第1or2火	第2金	月1	第3木		週1	水	月2	第2火&第4木	週1	木	
	茶色				月1	第3木								
	その他色				月1	第3木								
紙 類	その他紙	月1	第2木	第1or2水	月1	第1土		週1	水	月2	第1&3木	月2	第2&4水	
	紙パック	月1	第2or3月	第3土	月1	第1土		週1	水	月2	第1&3木	月2	第2&4水	
	段ボール	月1	第4or5木	第3or4木	月1	第1土		週1	水	月2	第1&3木	月2	第2&4水	
	新聞(チラシ)	月1	紙パック前・月	紙パック前・土	月1	第1土		週1	水	月2	第1&3木	月2	第2&4水	
	書籍・雑誌	月1	紙パック後・月	紙パック後・土	月1	第1土		週1	水	月2	第1&3木	月2	第2&4水	
粗大ごみ	-	-		月1	第1木		-	-	-	-	-	-	-	
集積場の箇所数	277			76			69		82		104			
分別種類の数	13			16			13		11		11			

木造①地区：千代町、蓮沼赤根、赤根団地、范中、浮巢、松原、松原団地、若緑団地、追広、出精地区、川除地区、吉見、柴田地区（中館団地、福原を除く）

木造②地区：上町、田町、有楽町、横町、清水町、吉岡下木造、森内団地、若宮団地、浦船団地、中館団地、福原、館岡地区、出来島地区、越水地区（吉見を除く）

森田勝山ほか：勝山、大館、床舞

森田森田ほか：森田、月見野、山田、猫淵

森田中田ほか：中田、吉野、漆館、下相野、富岡、上相野、栄田、笹木、小中野